

## 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果について

平成29年4月18日に実施された6年生の全国学力・学習状況調査についての結果が出ましたのでお知らせいたします。個人の結果を示す個人票につきましては、すでに6年生に渡してあります。調査結果について、本校の概要をお知らせします。なお、学校では調査結果で見えてきた課題について検討し、今後の児童の指導へと生かしていきたいと存じます。

調査は、国語と算数の2教科と学習習慣・生活習慣に関して行われました。2教科はそれぞれ問題の傾向によってAとBに分かれています。AとBの意図については次のようになります。

### A：主として「知識」に関する問題

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心として出題

### B：主として「活用」に関する問題

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容を中心として出題

分類	区分	平均正答率 (%)		
		本校	全国 (公立)	
国語 A	話すこと・聞くこと	84.6	69.2	◆国語 ・文章の中から、必要な情報を見つけて読む力、進行に沿って話し合う力、内容の中心を明確にして書く力が特に優れていました。 ・理由を明確にして自分の考えを書いてまとめる問題に課題が見られました。自分の考えを発表したり書いたりする機会を増やし、自分の考えをまとめる活動に慣れていけるようにします。
	書くこと	63.5	60.6	
	読むこと	78.8	70.2	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	81.6	78.0	
国語 B	話すこと・聞くこと	69.9	64.9	◆算数 ・四則の混合した計算の仕方や式の意味の理解の力は、よく身に付いています。重さ、長さについての任意単位による測定や、図形の性質についてよく理解しています。 ・きまり、答えの求め方や、判断の理由を記述する問題に課題が見られました。自分で説明したり、考えを述べたりする活動を多く取り入れるようにします。
	書くこと	59.2	53.4	
	読むこと	51.9	49.2	
算数 A	数と計算	84.4	80.6	
	量と測定	81.7	68.8	
	図形	89.4	81.1	
算数 B	数量関係	80.8	79.6	
	数と計算	54.6	52.8	
	量と測定	48.1	47.0	
	図形	17.3	13.2	
	数量関係	41.3	40.0	

### ◆全体の様子

- ・2教科に共通することとして、「知識」に関する問題は、正答率が高く、既習の学習内容をよく理解していることが分かりました。
- ・問題形式が選択式の設定について正答率が高いのに比べ、記述式になると正答率が下がる傾向が見られました。

<生活習慣・学習習慣について> ※数値は、肯定の回答率

特徴的な項目	本校 (%)	全国 (%)
読書は好きですか	82.7	74.3
テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか	90.4	84.6
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思っていますか	84.6	70.4
朝食を毎日食べていますか	100.0	95.4
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	96.1	91.2
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をしますか	86.5	78.1
携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	57.7	48.7
家で、学校の宿題をしていますか	96.2	96.9
家で、学校の授業の予習をしていますか	34.7	41.0
家で、学校の授業の復習をしていますか	36.6	53.8
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	42.3	52.2

質問紙調査結果から、特徴的な項目についてお知らせします。

- ・読書が好きな子が多いです。1年生の時から続けている「読み聞かせ」「読書タイム」のよい効果が出ているのだと思います。
- ・ニュースや英語、外国に対する関心が高いです。低学年から英語に親しんだり外国人講師とふれ合ったりしていることが、よい影響を及ぼしているようです。
- ・家庭生活では、「早起き・朝ご飯」のよい習慣ができていることが分かりました。また、学校の出来事について家庭で話せる児童や携帯電話などの約束を守っている児童が、全国平均より高いです。（約束を守っている児童の他に、「約束をしていない、または守っていない児童」が15.4%、「携帯電話を持っていない児童」が26.9%います。）
- ・家庭学習については、宿題はしっかりと行っていますが、予習・復習をしている児童が少ないことが分かります。授業態度がよく、すべき課題に真面目に取り組むので、学習した内容をよく理解しているのがよいところですが、中学校進学に向けて、自分から進んで予習・復習に取り組めるようになるとさらによいです。
- ・友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意ではない児童が過半数いることが分かります。国語、算数の課題としても表れていたのも、考えや意見を発表したり書いたりする活動を増やし、慣れることで自信をつけていけるように、学年で取り組んでいます。